

## 第3章 各協働事業の内容

### 1 官民学で模索する！森のようちえん認証制度

#### ～全国に先駆けて鳥取県を森のようちえん王国にするために

##### (1) 概要

実施主体	特定非営利活動法人 智頭町森のようちえん まるたんぼう
県協働担当課	福祉保健部子育て王国推進局子育て応援課
課題と目標	<p>森のようちえんとは、豊かな自然や地域のフィールドを活用した野外（園外）保育を特徴とした子育て・保育や乳幼児期教育の総称であり、国内でも広がりを見せている。</p> <p>しかし、園舎を持たず野外での保育を中心に行う森のようちえんは国制度の幼稚園・保育園の枠組みに入っていないため、支援制度が存在しない。</p> <p>そこで、この鳥取県において森のようちえんが活動の魅力を損なうことなく認証を得られる仕組み（制度）作りに官民学協働で取り組む。</p>


##### (2) 計画策定

実施内容	<p>・森のようちえん認証制度検討会議（全3回）の開催</p> <p>森のようちえん認証制度（以下「認証制度」という。）の内容、役割及び進め方について議論した。</p> <p>【参加者】</p> <table border="1"> <tr> <td>官</td> <td>子育て応援課、県森林づくり推進課、県教育委員会事務局小中学校課、智頭町教育課</td> </tr> <tr> <td>民</td> <td>特定非営利活動法人 智頭町森のようちえん まるたんぼう</td> </tr> <tr> <td>学</td> <td>佛教大学 奥野隆一特別任用教授（専門：保育学） 広島文教女子大学 杉山浩之教授（専門：森のようちえんの理念等）</td> </tr> </table>	官	子育て応援課、県森林づくり推進課、県教育委員会事務局小中学校課、智頭町教育課	民	特定非営利活動法人 智頭町森のようちえん まるたんぼう	学	佛教大学 奥野隆一特別任用教授（専門：保育学） 広島文教女子大学 杉山浩之教授（専門：森のようちえんの理念等）
	官	子育て応援課、県森林づくり推進課、県教育委員会事務局小中学校課、智頭町教育課					
民	特定非営利活動法人 智頭町森のようちえん まるたんぼう						
学	佛教大学 奥野隆一特別任用教授（専門：保育学） 広島文教女子大学 杉山浩之教授（専門：森のようちえんの理念等）						
<p>・森のようちえん主催者会議（1回）の開催</p> <p>実施主体が、県内の森のようちえんを運営する6団体に対する事前アンケート結果を踏まえて、当該団体の主催者による会議を開催し、認証制度の必要性や認証制度創設に向けた今後の進め方等について意見交換を行った。</p>							

	<p><b>【参加者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定非営利活動法人 智頭町森のようちえん まるたんぼう</li> <li>・ 大山森のようちえんHUGHUG</li> <li>・ 里山保育”いきいき成器保育園”</li> <li>・ 鳥取森のおさんぽ会トコトコ</li> <li>・ 鳥取森のおさんぽ会風りんりん</li> <li>・ 森のようちえん michikusa</li> <li>・ ぷろじえくと園</li> </ul> <p>・ <b>大学との協働</b></p> <p>奥野隆一 佛教大学特別任用教授の認証制度の骨子作成の協力を得たほか、同教授及び杉山浩之 広島文教女子大学教授の森のようちえん認証制度検討会議への出席による助言等を得た。</p>												
<p>計画策定を終えた時点の結果</p>	<p>森のようちえん認証制度検討会議の議論を踏まえ、本県独自の認証制度創設の検討に資するため、運営費助成のモデル事業（「森のようちえん等に対する運営費助成モデル事業」）が実施されるに至った。</p>												
<p>実績額</p>	<p>300,000円</p> <table border="1" data-bbox="491 1263 1335 1727"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>金 額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>205,000円</td> <td>アドバイザー謝金 検討会@15,000円×3回 アドバイザー謝金 検討会@30,000円×3回 骨子作成 70,000円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>101,320円</td> <td>京都打合せ旅費 @13,000円 アドバイザー旅費 16,440円×3回（広島） アドバイザー旅費 13,000円×3回（京都）</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>306,320円</td> <td>(6,320円は自己資金)</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	金 額	備 考	報償費	205,000円	アドバイザー謝金 検討会@15,000円×3回 アドバイザー謝金 検討会@30,000円×3回 骨子作成 70,000円	旅 費	101,320円	京都打合せ旅費 @13,000円 アドバイザー旅費 16,440円×3回（広島） アドバイザー旅費 13,000円×3回（京都）	合 計	306,320円	(6,320円は自己資金)
内 訳	金 額	備 考											
報償費	205,000円	アドバイザー謝金 検討会@15,000円×3回 アドバイザー謝金 検討会@30,000円×3回 骨子作成 70,000円											
旅 費	101,320円	京都打合せ旅費 @13,000円 アドバイザー旅費 16,440円×3回（広島） アドバイザー旅費 13,000円×3回（京都）											
合 計	306,320円	(6,320円は自己資金)											

## (3) 事業実施

<p>実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森のようちえん主催者会議（全4回）の開催        県内の森のようちえんを運営する団体の主催者が、奥野隆一佛教大学特別任用教授が作成した認証制度の骨子を基に県協働担当課が作成した制度設計案について意見交換を行い、森のようちえん認証制度検討会議に意見を提示した。</li> <li>・森のようちえん認証制度検討会議（全3回）の開催        森のようちえん主催者会議から提示された意見を参考としながら、認証制度を官民学それぞれの立場で検討し、制度の設計に取り組んだ。</li> <li>・先進地視察        認証制度の設計に必要な情報を収集するため、官民学それぞれの立場を代表する者が、平成26年9月に森のようちえん発祥の地であるデンマーク（ロキシレー市等）及びドイツ（フライブルグ市）へ先進地視察を行った。</li> </ul>
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察による知見        先進地視察により、森のようちえんに対する行政の支援体制及び県内における組織の必要性等の認証制度の設計等に資する情報が収集できた。        （参考資料「資料6 海外視察結果」参照）</li> <li>・認証制度の創設        本事業による認証制度の検討と本事業での検討過程で実施された県のモデル事業の結果を踏まえ、県は平成27年3月に「とっとり森・里山等自然保育認証制度」を全国に先駆けて創設し、同年4月に6園を認証した。</li> <li>・波及効果        県中部圏域において初の認証を目指した自主保育サークルが立ち上がった。        また、森のようちえん主催者会議が契機となり、県内の森のようちえんを運営する団体の主催者からなる「とっとり森のようちえん会議」が立ち上げられ、認証制度に関し継続して検討する体制が整った。</li> </ul>

	<p>・ 県外イベントにおける森のようちえん活動のPR実施</p> <p>県外イベントにおいて写真集「智頭 【写真集】 町 森のようちえんまるたんぼう～ 空と大地と太陽と～」を活用し、鳥取 における森のようちえん活動の全国 へ向けたPRにつなげた。</p> 															
<p>実績額</p>	<p>2,000,000円</p> <table border="1" data-bbox="491 896 1337 1205"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>金 額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>75,000 円</td> <td>森のようちえん認証制度検討会議</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>1,535,845 円</td> <td>森のようちえん主催者会議 109,960 円 先進地視察 1,425,885 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>399,017 円</td> <td>プリンターインク代 10,217 円 書籍代 388,800 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,009,862 円</td> <td>(9,862 円は自己資金)</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	金 額	備 考	報償費	75,000 円	森のようちえん認証制度検討会議	旅 費	1,535,845 円	森のようちえん主催者会議 109,960 円 先進地視察 1,425,885 円	需用費	399,017 円	プリンターインク代 10,217 円 書籍代 388,800 円	合 計	2,009,862 円	(9,862 円は自己資金)
内 訳	金 額	備 考														
報償費	75,000 円	森のようちえん認証制度検討会議														
旅 費	1,535,845 円	森のようちえん主催者会議 109,960 円 先進地視察 1,425,885 円														
需用費	399,017 円	プリンターインク代 10,217 円 書籍代 388,800 円														
合 計	2,009,862 円	(9,862 円は自己資金)														

#### (4) 今後の課題

「とっとり森・里山等自然保育認証制度」の運営費の助成は、対象経費の2分の1を県が負担し、残り2分の1を市町村が負担することとなっているが、市町村の負担が任意となっているため、経費支援の状況に違いがある。

より良い認証制度としていくための全国調査（森のようちえんの実態調査のみならず行政に対する効果検証も行う調査）の実施検討が必要である。

#### (5) 成果検証の結果

##### 鳥取県協働提案・連携推進事業補助金審査・検証委員会による成果検証

認証制度創設にあたり本事業が後押しとなっており協働の成功事例と言える。過程において、県の役割分担が明確である上、双方の存在が不可欠であり良い協働をしている。

認証制度の十分とは言えない部分についての継続した働きかけ、森のようちえんができたことによる影響等の検証及び必要な研究に対する助成等必要な働きかけを検討してはどうか。

## 鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局参画協働課による成果検証

### 〔事業の目的の達成〕

全国調査は実施できなかったが、事業の目的を明確に設定し達成することができていた。

### 〔スケジュール〕

全国調査を除き、計画策定時のスケジュールどおりに事業実施できていた。

### 〔成果・効果〕

全国初の運営費助成を伴う認証制度が創設されたことは画期的であり、認証を受けた森のようちえんの経営の安定化に一定程度寄与したほか、認証を目指した自主保育サークルが立ち上がるなど、森・里山等自然保育の活性化につながった。

### 〔収支決算〕

事業内容の変更による修正があった他は概ね申請内容のとおり実施できていた。

### 〔協働の原則から見た評価〕

（目的の共有・自主性の尊重・対等の原則・責任と業務の分担）

事業実施において森のようちえん主催者会議を実施することで、実施主体のみならず県内の各森のようちえん主催者の意見を集約し認証制度に反映させ、県協働担当課と県内の各森のようちえん主催者との間において対等な協働ができていた。

また、森のようちえん認証制度検討会議を実施することにより、実施主体、学識経験者と県協働担当課等が目的を適時に共有し、業務分担等について合意形成しながら進めたことから、それぞれの主体が自主的に取り組むことができていた。

官（県の認証制度の創設）、民（現場の声の制度への反映）、学（専門的知見から助言、骨子作成）の各々の専門性と立場が不可欠な事業であり、複数の組織が一緒になって取り組む協働としてモデルケースとなりうる事業だったと言える。

### 〔協働事業に対する認識（アンケート結果）〕

14問中12問については、実施主体と県協働担当課の双方がほぼ同一の回答内容であり、協働事業に対する認識が概ね共通していたと言える。

また、実施主体から、協働提案・連携推進事業について、「森のようちえん主催者会議」の意見の提示を受けて制度の設計を行うことができたことから、「県民の声を吸い上げながら政策立案できる画期的な事業」との評価を得られた。

(6) 写真でみる事業成果



【デンマーク スコウエア 森  
のようちえん】

手慣れた手つきでノコギリ  
を使う園児の様子



【デンマーク ステンリュス 森  
のようちえん】

森を散策する園児の様子



【ドイツ ギュンターシュタル 森  
のようちえん】

オープンや寝床等が完備さ  
れている拠点小屋内部の様  
子

## 2 智頭林業および沖ノ山森林鉄道の資料保存と有効活用

### (1) 概要

実施主体	山形地区振興協議会
県協働担当課	教育委員会事務局博物館
課題と目標	<p>森林従事者が減少し、智頭林業の継承者が少なくなり、当時の様子を知る人が高齢化してきている。少子化で小学校が閉校となり、現在は林業学習の場もほとんどない。</p> <p>また、廃線になった沖ノ山森林鉄道の機関車を、昭和58年に現在の交通公園に設置しているが経年劣化している。</p> <p>そこで、沖ノ山森林鉄道を主軸に据えて智頭林業の歴史を継承し、地域に「山の誇り」「山の価値」を取り戻すとともに、子ども達に「山の大切さ」を学ぶ場をつくる。</p> <p>その他、鉄道ファンを含め広く町外へアピールして集客する。</p>

### (2) 計画策定

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>県協働担当課等との検討会（全4回）の開催</b>        県協働担当課職員及び地域活性化及びオーラルヒストリー（口述史料）等に関する知見を有する県東部振興課（当時）のアドバイザー（以下「関係職員等」という。）と共に月1回程度検討会を開催し、現状把握や資料展示場所の考察、進捗状況の確認や視察報告、情報提供等を行った。        その他、旧山形小学校の利活用を進めている「恋山形運営協議会」と共に展示室の内容にかかる検討を行った。</li> <li>・<b>歴史的展示を行っている先進地の視察（全2回）</b>        平成25年9月、関係職員等と共に「たたら楽校（鳥取県日野郡日野町及び日南町）」2ヶ所を視察し、ボランティアガイドの育成、資料の記録・書籍化の重要性等について学んだ。        また、平成25年10月、実施主体単独で高知県馬路村の魚梁瀬森林鉄道を視察し、展示のあり方の方向性を確認した。</li> <li>・<b>当時の林業関係者への協力依頼</b>        当時の林業関係者等の一覧リストを作成し、協働事業への理解・協力及び展示資料の提供を依頼する葉書を送付した。</li> </ul>
計画策定を終えた時点の結果	<p>現地視察で他の事例を把握することができた結果、沖ノ山森林鉄道の機関車の復元にコストや労力をかけることは見送り、現状の屋外展示を維持しつつ、興味・関心を引き付けるため、体験型の展示とするのが適しているとの方向性が見えた。</p>

	<p>また、展示する道具の収集や聞き書き等に必要な協力を得るため、林業関係者の団体との協力連携の必要性が把握できた。</p> <p>検討会での検討の結果、智頭林業資料展示室の完成イメージ（旧音楽室を利用し、映像放送や沖ノ山森林鉄道模型（ジオラマ）等の動的なものを導入）とメインターゲット（智頭町内の小学生とその親）の設定ができた。展示のメインは智頭林業とし、沖ノ山森林鉄道は智頭林業の資料の一つとするとの位置付けが明確化できた。</p>																					
実 績 額	<p style="text-align: center;">227,025円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">内 訳</th> <th style="width: 20%;">金 額</th> <th style="width: 60%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">102,128円</td> <td>団体構成員（主に森林従事者）謝金 @5,000円×延べ20人 謝礼2,128円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td style="text-align: right;">75,600円</td> <td>宿泊費（対象外）</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">56,242円</td> <td>杉材の展示サンプル 10,000 ガソリン代 18,149 軽油代5,863 書籍 12,000 プリンターインク 他10,230</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">5,985円</td> <td>郵便・宅配送料865 切手代120 官製葉書100枚 5,000円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">62,670円</td> <td>視察レンタカー代 24,200 車両借上費 2,000（県打合せ） 18,000（現地視察） 視察 ETC 料金 12,970 森林鉄道体験料 5,500</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">302,625円</td> <td>（75,600円は自己資金）</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	金 額	備 考	報償費	102,128円	団体構成員（主に森林従事者）謝金 @5,000円×延べ20人 謝礼2,128円	旅 費	75,600円	宿泊費（対象外）	需用費	56,242円	杉材の展示サンプル 10,000 ガソリン代 18,149 軽油代5,863 書籍 12,000 プリンターインク 他10,230	役務費	5,985円	郵便・宅配送料865 切手代120 官製葉書100枚 5,000円	使用料及び賃借料	62,670円	視察レンタカー代 24,200 車両借上費 2,000（県打合せ） 18,000（現地視察） 視察 ETC 料金 12,970 森林鉄道体験料 5,500	合 計	302,625円	（75,600円は自己資金）
内 訳	金 額	備 考																				
報償費	102,128円	団体構成員（主に森林従事者）謝金 @5,000円×延べ20人 謝礼2,128円																				
旅 費	75,600円	宿泊費（対象外）																				
需用費	56,242円	杉材の展示サンプル 10,000 ガソリン代 18,149 軽油代5,863 書籍 12,000 プリンターインク 他10,230																				
役務費	5,985円	郵便・宅配送料865 切手代120 官製葉書100枚 5,000円																				
使用料及び賃借料	62,670円	視察レンタカー代 24,200 車両借上費 2,000（県打合せ） 18,000（現地視察） 視察 ETC 料金 12,970 森林鉄道体験料 5,500																				
合 計	302,625円	（75,600円は自己資金）																				

### （3）事業実施

実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧山形小学校の空き教室を有効活用した「智頭林業資料展示室」の整備</li> </ul> <p>林業の記憶を後世に伝える取組みとして、旧山形小学校の空き教室を利用し、地域の団体や住民の協力を得ながら、「智頭林業資料展示室」を整備し、以下の資料を展示した。</p>
---------	--





	<p>国有形文化財に登録されている旧山形小学校の空き教室の活用ができた。</p> <p>・地区住民との関係性の構築</p> <p>沖ノ山森林鉄道模型（ジオラマ）の製作、往時を知る林業従事者への聞き取り、ふるさとかかしの作成及び地区住民への呼び掛けといった林業資料の収集・整備の過程において、広く地区住民と連携し関係性を構築した。</p>																											
実績額	2,000,000円																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 725 644 763">内 訳</th> <th data-bbox="644 725 852 763">金 額</th> <th data-bbox="852 725 1335 763">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="491 763 644 860">報償費</td> <td data-bbox="644 763 852 860">160,000円</td> <td data-bbox="852 763 1335 860">オーラルヒストリー聞き取り 展示台作成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 860 644 1003">需用費</td> <td data-bbox="644 860 852 1003">289,959円</td> <td data-bbox="852 860 1335 1003">展示場作成 消耗品169,370 照明器具104,280 印刷費14,825 図書1,484</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1003 644 1099">役務費</td> <td data-bbox="644 1003 852 1099">112,896円</td> <td data-bbox="852 1003 1335 1099">展示経費64,260 広告料46,756 郵券代1,880</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1099 644 1346">委託料</td> <td data-bbox="644 1099 852 1346">780,835円</td> <td data-bbox="852 1099 1335 1346">展示場レイアウト269,827 展示台作成229,840 ジオラマ作成料157,208 モニュメント作成費62,888 映像編集61,072</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1346 644 1442">使用料及び賃借料</td> <td data-bbox="644 1346 852 1442">109,524円</td> <td data-bbox="852 1346 1335 1442">著作権使用料108,864 視察高速代660</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1442 644 1538">工事請負費</td> <td data-bbox="644 1442 852 1538">352,337円</td> <td data-bbox="852 1442 1335 1538">屋内工事費</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1538 644 1635">備品購入費</td> <td data-bbox="644 1538 852 1635">207,139円</td> <td data-bbox="852 1538 1335 1635">展示機器154,003 展示遊具53,136</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1635 644 1680">合 計</td> <td data-bbox="644 1635 852 1680">2,012,690円</td> <td data-bbox="852 1635 1335 1680">(12,690円は自己資金)</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	金 額	備 考	報償費	160,000円	オーラルヒストリー聞き取り 展示台作成	需用費	289,959円	展示場作成 消耗品169,370 照明器具104,280 印刷費14,825 図書1,484	役務費	112,896円	展示経費64,260 広告料46,756 郵券代1,880	委託料	780,835円	展示場レイアウト269,827 展示台作成229,840 ジオラマ作成料157,208 モニュメント作成費62,888 映像編集61,072	使用料及び賃借料	109,524円	著作権使用料108,864 視察高速代660	工事請負費	352,337円	屋内工事費	備品購入費	207,139円	展示機器154,003 展示遊具53,136	合 計	2,012,690円	(12,690円は自己資金)
	内 訳	金 額	備 考																									
	報償費	160,000円	オーラルヒストリー聞き取り 展示台作成																									
	需用費	289,959円	展示場作成 消耗品169,370 照明器具104,280 印刷費14,825 図書1,484																									
	役務費	112,896円	展示経費64,260 広告料46,756 郵券代1,880																									
	委託料	780,835円	展示場レイアウト269,827 展示台作成229,840 ジオラマ作成料157,208 モニュメント作成費62,888 映像編集61,072																									
	使用料及び賃借料	109,524円	著作権使用料108,864 視察高速代660																									
	工事請負費	352,337円	屋内工事費																									
	備品購入費	207,139円	展示機器154,003 展示遊具53,136																									
合 計	2,012,690円	(12,690円は自己資金)																										

#### (4) 今後の課題

「智頭林業資料展示室」の認知度をさらに高め、リピーターを生むイベント実施とその継続が必要である。

また、運営のための財源の確保とボランティアスタッフ等の充実及び町全体の観光や視察来訪とのコラボレーション等の工夫が必要である。

## (5) 成果検証の結果

### 鳥取県協働提案・連携推進事業補助金審査・検証委員会による成果検証

廃校利用という観点で工夫して地域の課題に取り組み、良い成果物を残している。過程において、県の役割分担が明確であり良い協働をしている。県内外と連携をするなど工夫して集客のためのPRをするとよいのではないかと。

ただし、今後に向けて継続して実績を積み上げていく工夫が重要である。行政（県・町）と協働しながら今後の発展に大いに利用されることを期待する。

### 鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局参画協働課による成果検証

#### 〔事業の目的の達成〕

林業学習の場を整備でき、概ね達成できていた。集客数のカウントの仕方が厳密とは言えず、集客目標が達成されたか明確ではないが、親子体験教室の受入れ等により、ある程度まとまった数の集客があったと判断できる。

#### 〔スケジュール〕

計画策定時のスケジュールどおりに事業実施できていた。

#### 〔成果・効果〕

「智頭林業資料展示室」の整備により林業学習の拠点ができ、林業の歴史を地区住民に継承する体制が整ったことで、親子体験教室を開催して地区内の小学生等に地域の林業の歴史を伝えることができていた。

#### 〔収支決算〕

概ね申請内容のとおり実施できていた。

#### 〔協働の原則から見た評価〕

（目的の共有・自主性の尊重・対等の原則・責任と業務の分担）

特に計画策定において、県協働担当課等と打合せを適時に行うことにより、目的の共有が適切にできていた。

県協働担当課等による展示方法のアドバイスや情報提供など各々の専門性を生かし、自主的に取り組むことができていた。

対等の原則については、実施主体の意向を尊重し事業実施できていた。

責任と業務の分担については、計画策定において役割分担を明確に決定できていた。

〔協働事業に対する認識（アンケート結果）〕

14問全てについて、実施主体及び県協働担当課の双方があまり差異のない回答内容であり、事業に対する認識が共通していた協働と言える。

また、実施主体から「計画策定時において県協働担当課の専門性が高く、県の存在が大きな役割を担った。」「県との協働事業というのは関連団体への説明にあたり説得力があった。」等の評価を得られた。

事業成果については、実施主体への聞き取りの際、「林業資料展示室ができ、小学生が親子体験などで訪れ、その話を家庭で共有することで林業従事者（祖父等）への尊敬の念が生まれたり、家庭内の会話の活発化へとつながっている。地区住民もやる気になる人が増えた。」との声が聞かれた。

## (6) 写真でみる事業成果



智頭林業資料展示室

(ふるさとのかかしによる伐採した重い杉を木馬(きんま)に乗せて横木の上を滑らせる搬出作業(写真右側))



沖ノ山森林鉄道模型


(ジオラマ) 展示の様子



完成披露会において交通公園で実施された架線デモンストラーションの様子

### 3 クリエイターと創る夢と誇りを持てる町づくり事業 ～人とアイデアが創り出す住みつづけたくなる町～

#### (1) 概要

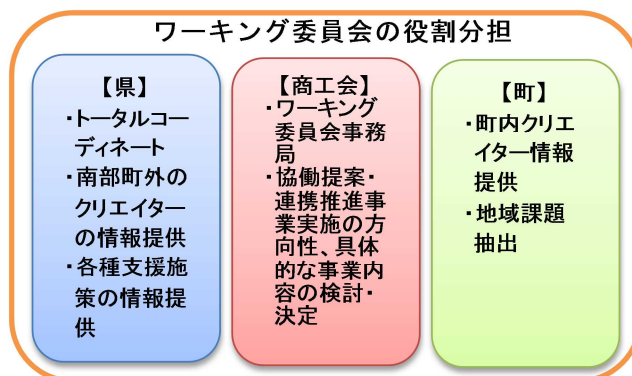
実施主体	南部町商工会
県協働担当課	西部総合事務所地域振興局中山間地域振興チーム
課題と目標	<p>南部町では、少子高齢化、過疎化が進み空き家や耕作放棄地が目立ち、商工業者、農林業者の減少により商工業、農林業も衰退傾向にある。また、南部町には素晴らしい地域資源（赤猪岩神社、桜、富有柿など）があるものの、地域活性化のために十分に活かされていない。</p> <p>そこで、南部町に集まるクリエイター（新しいことに挑戦する意欲のある人）と共に、クリエイティブ（創造的）な発想を取り入れた問題解決手法（ソーシャルデザイン）により移住定住者を呼び込み、地域資源を活かした魅力ある町づくりを進める。</p> <div data-bbox="858 797 1007 826" style="text-align: center;">【イメージ図】</div> <div data-bbox="858 853 1137 878" style="text-align: center;">クリエイティブな力で課題を解決する！</div> 

#### (2) 計画策定

実施内容	<p>・ワーキング委員会発足・委員会の開催（全6回・参加者：延べ53名）</p> <p>平成25年8月に10名でワーキング委員会を発足し、役割分担を明確化した。</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部町商工会親会職員</li> <li>・南部町商工会青年部職員</li> <li>・南部町商工会女性部職員</li> <li>・南部町商工会事務局</li> <li>・西部産業支援センター職員</li> <li>・クリエイター</li> <li>・南部町企画政策課職員</li> </ul>
------	--

- ・南部町産業課職員
- ・南部町住民
- ・鳥取県西部総合事務所地域振興局職員

### 【役割分担】



### ・地域課題の把握を目的としたアンケートの実施

平成25年10月に南部町内の小学生5、6年及び中学生1、2年の合計427名を対象として南部町の地域課題の把握を目的とした「夢アンケート」を実施した。

### ・ソーシャルデザインの先進地視察（2箇所）

平成25年10月、ワーキング委員8名で「上山集落（岡山県美作市上山）」及び「森の学校（岡山県英田郡西粟倉村）」の2箇所を訪問し、ソーシャルデザインを活かした棚田保全、クラウドファンディングの活用等とIターン受入50名による木材産業振興の取組を視察した。

### ・講演会の開催

平成25年11月、ソーシャルデザインにかかる講演会を開催した。

### ・情報交換会の開催（参加者：23名）

ワーキング委員及びクリエイターを対象とし、「H.!.N.Tプロジェクト」の主旨説明を行い、賛同を得た。

（注）「H.!.N.Tプロジェクト」

人の繋がりでヒントを得ることのできる仕組を創り「ひと（HITO）」と「アイデア（IDEA）」、「南部町（NANBUCHO）」で「つながる（TSUNAGARU）」の頭文字をとって命名



<p>計画策定を終えた時点の結果</p>	<p>ワーキング委員会の発足により、地域活性化全般について協議し連携ができる体制が整った。</p> <p>また、先進地への視察により、ソーシャルデザインの手法により課題解決を図る際には、若い世代の外部人材が不可欠である点が認識された。これにより、南部町においても若い人材の重要性が認識され、平成26年度の地域おこし協力隊2名の採用へつながった。</p> <p>また、夢アンケートの実施により、「働く場の確保」が地域課題であることがわかり、産業が少ない南部町において自力で働く場を確保できる起業を最大の課題解決の方策と位置づけ、南部町で起業する者への補助制度が創設されることとなった。</p> <p>その他、情報交換会の開催によりクリエイターの相互理解が進み、地域資源を活用した新しい商品開発への機運が高まった。</p>																		
<p>実績額</p>	<p>231,611円</p> <table border="1" data-bbox="491 920 1337 1534"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>金 額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>70,000円</td> <td>講師謝金（ムラタチアキ氏）</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>22,300円</td> <td>講師旅費（ムラタチアキ氏）</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>86,493円</td> <td>視察研修資料代 上山村集落40,000 西粟倉村32,000 ガソリン代 6,530ワーキング委員会 お茶 6,179 夢アンケート返信用封筒代1,784</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>52,837円</td> <td>講演会 チラシデザイン費 36,750 チラシ折込料 10,500 視察研修 高速料 4,800 振込手数料 787</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>231,630円</td> <td>(19円は自己資金)</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	金 額	備 考	報償費	70,000円	講師謝金（ムラタチアキ氏）	旅 費	22,300円	講師旅費（ムラタチアキ氏）	需用費	86,493円	視察研修資料代 上山村集落40,000 西粟倉村32,000 ガソリン代 6,530ワーキング委員会 お茶 6,179 夢アンケート返信用封筒代1,784	役務費	52,837円	講演会 チラシデザイン費 36,750 チラシ折込料 10,500 視察研修 高速料 4,800 振込手数料 787	合 計	231,630円	(19円は自己資金)
内 訳	金 額	備 考																	
報償費	70,000円	講師謝金（ムラタチアキ氏）																	
旅 費	22,300円	講師旅費（ムラタチアキ氏）																	
需用費	86,493円	視察研修資料代 上山村集落40,000 西粟倉村32,000 ガソリン代 6,530ワーキング委員会 お茶 6,179 夢アンケート返信用封筒代1,784																	
役務費	52,837円	講演会 チラシデザイン費 36,750 チラシ折込料 10,500 視察研修 高速料 4,800 振込手数料 787																	
合 計	231,630円	(19円は自己資金)																	

### (3) 事業実施

<p>実施内容</p>	<p>・「H.!.N.Tプロジェクト」の設立（平成26年6月）</p> <p>平成26年6月に「コミュニティスペースH.!.N.T」を開設し、「H.!.N.Tプロジェクト」の設立総会を開催し、設立された。</p>
-------------	--



実施内容

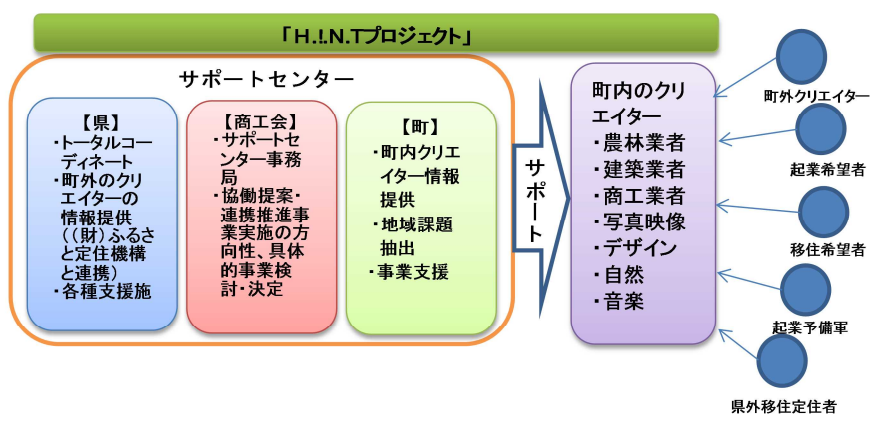
・サポートセンター会議（全8回・参加者：延べ43名）  
（平成26年7月～平成27年2月）

「コミュニティスペースH.!.N.T」の開設を受け、起業・商品開発・移住定住に係る総合相談窓口機能を果たす「サポートセンター」を**実施主体**、南部町、県協働担当課の11名で立ち上げた。また、「H.!.N.Tプロジェクト」情報交換会・講演会の内容検討、プロジェクトメンバー募集等を行った。

【参加者】

- ・南部町商工会副会長
- ・南部町商工会理事
- ・南南部町商工会事務長
- ・南部町企画政策課職員（2名）
- ・南部町商工会女性部長
- ・西部産業支援センター係長
- ・南部町産業課職員（2名）
- ・鳥取県西部総合事務所地域振興局職員

【イメージ図】



・「H.!.N.Tプロジェクト」情報交換会（全2回）

「H.!.N.Tプロジェクト」のメンバーであるクリエイター及びサポートセンタースタッフを対象に、ソーシャルデザイン成功事例を紹介した他、「南部町観光商品づくり」をテーマとしたワークショップを行い、南部町の新しい名物を考案した。

① 第1回（平成26年9月）

参加者：サポートセンタースタッフ、クリエイター42名

内 容：ムラタチアキ氏の講演「ソーシャルデザイン成功事例」、ワークショップ第1部「南部町観光商品づくり」

② 第2回（平成27年2月）

参加者：サポートセンタースタッフ、クリエイター31名

内 容：ワークショップ第2部「南部町観光商品づくり」

・「H.!.N.Tプロジェクト」講演会の開催（平成27年1月）

「H.!.N.Tプロジェクト」のメンバーであるクリエイター及びサポートセンタースタッフを対象に、地域が抱える少子高齢化、過疎化といった地域課題をソーシャルデザインで解決している広島県三次市にある任意団体GANBOの農商工連携による地域活性化事例を紹介した。

参加者：サポートセンタースタッフ、クリエイター 60名

内 容：新春まちおこしトーク「まちを元気に！」

講 師：GANBO 代表 小川治孝氏

・ソーシャルデザインの手法を用いたモデル創出

（平成26年4月～平成27年3月）

ソーシャルデザインによる課題解決と新しい価値づくりとして、クリエイター同士の情報交換により生まれたアイデアを基にモデル事業を実施し、販路開拓への支援を行った。

モデル事業（3事業）

① 赤猪岩神社御利益「おきあがりこぼし」

② 町内の特産品（いちじく、二十世紀梨、富有柿等）を活用したスイーツ

③ ジビエ（いのしし）加工品

・移住希望者への働きかけ（平成26年7月）

「鳥取県I J UターンB I G相談会」へクリエイター1名が参加し、働きかけを行った。

	日 付	場 所
①	平成26年7月6日(日)	大阪国際会議場
②	平成26年7月17日(木)	東京都立産業貿易センター 浜松町館展示場

	<p>その他、ワーキング委員会の開催、(全2回・参加者：延べ22名)、ウェブサイト (<a href="http://hint-project.com/">http://hint-project.com/</a>) 構築による情報発信、プロジェクトメンバーの募集等を行った。</p>												
<p>成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>サポートセンターの立ち上げ</b>            県・町・商工会が連携しサポートセンターを立ち上げ、起業、商品開発、移住定住に係る相談にワンストップで対応する仕組みができた。南部町へ2名移住させることができた。         </li> <li> <b>「コミュニティスペースH.!.N.T」の開設による拠点整備</b>            南部町への移住定住促進とソーシャルデザイン手法を用いた地域活性化のため「H.!.N.Tプロジェクト」を始動させ、「コミュニティスペースH.!.N.T」を開設し、定期的を開催するサポートセンター会議、クリエイターの活動等の拠点が整備された。情報交換会には延べ139名の町内外のクリエイターが参加し、地域課題に取り組む機運が醸成された。         </li> <li> <b>起業支援体制の充実</b>            「H.!.N.Tプロジェクト」が、南部町に移住定住し起業を志す者の総合相談窓口となり、町と連携を図ったことにより、南部町において「南部町起業促進奨励金」が創設され、支援体制が充実した。         </li> <li> <b>ソーシャルデザインの手法を用いたモデル創出</b>            モデル事業のうち、「いのししの串カツ」「いのししかりんとう」について商品化へ繋げた。         </li> </ul>												
<p>実 績 額</p>	<p>1,370,000円</p> <table border="1" data-bbox="491 1554 1318 1980"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>決算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>100,000円</td> <td>ワークショップ講師謝金70,000 町おこしトーク講師謝金30,000</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>119,780円</td> <td>Big相談会(東京)54,080 (大阪)15,060 町おこしトーク講師28,240 情報交換会講師22,400</td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>436,320円</td> <td>ウェブサイト構築317,520 報告会パネル製作75,600</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	決算額	備 考	報償費	100,000円	ワークショップ講師謝金70,000 町おこしトーク講師謝金30,000	旅 費	119,780円	Big相談会(東京)54,080 (大阪)15,060 町おこしトーク講師28,240 情報交換会講師22,400	会議費	436,320円	ウェブサイト構築317,520 報告会パネル製作75,600
内訳	決算額	備 考											
報償費	100,000円	ワークショップ講師謝金70,000 町おこしトーク講師謝金30,000											
旅 費	119,780円	Big相談会(東京)54,080 (大阪)15,060 町おこしトーク講師28,240 情報交換会講師22,400											
会議費	436,320円	ウェブサイト構築317,520 報告会パネル製作75,600											

		情報発信43,200
使用料及び賃借料	54,000円	交流の館H!NT使用料@4,500×12
需用費	659,309円	起き上がりこぼし試作費165,384 スイーツ試作費116,177 いのしし加工品試作費94,103 広報費（H!NT看板）制作費53,136 うちわ制作費50,000 バーガーフェスタ公告50,000 まちおこしトークチラシ46,656 チラシ折込料11,552 SANチャンネルDVD1,500 その他70,801
役務費	3,186円	振込手数料
合計	1,372,595円	(2,595円は自己資金他)

#### (4) 今後の課題

本事業に関わった人材が比較的高い年齢層だったため、今後は20代、30代を中心に広げる必要がある。

#### (5) 成果検証の結果

##### 鳥取県協働提案・連携推進事業補助金審査・検証委員会による成果検証

目標設定と組織の方向性の転換や予算等の見通しのリスクに対する解決策の想定が必要である。目標設定が広く成果物が見えにくかったため、今後巻き返す展開を期待する。その他、移住定住の部分について効果が見えにくかった。

##### 鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局参画協働課による成果検証

###### 〔事業の目的の達成〕

南部町にソーシャルデザインの考え方を取り入れ、「コミュニティスペースH!NT」を開設し、県・町・商工会が連携したサポートセンターを立ち上げ、起業、商品開発、移住定住に係わる相談にワンストップで対応する仕組みをつくり、南部町に2名を移住させることができた。また、本事業に関わった人材が南部町の地方創生の総合戦略を策定するための町民による100人委員会やイメージ戦略会議に関わる等により、形を変えて活躍していったことは一つの成果と言える。

###### 〔スケジュール〕

計画策定の中で詳細なスケジュールの設定はないものの、事業を年度内に実

施できていた。

#### 〔成果・効果〕

「H.!. N. Tプロジェクト」の始動により、多くのサポートセンタースタッフ及びクリエイターを巻き込むことで南部町民が地域課題に取り組む機運が醸成された。

また、「H.!. N. Tプロジェクト」の安定的な継続について工夫があればより良かった。

#### 〔収支決算〕

概ね申請内容のとおり実施できていた。

#### 〔協働の原則から見た評価〕

（目的の共有・自主性の尊重・対等の原則・責任と業務の分担）

計画段階から「H.!. N. Tプロジェクト」に参画する実施主体・県・南部町の役割は明確化されており、業務の分担はできていた。

適時に必要な委員会が開催されており、目的の共有・自主性の尊重もできていた。

#### 〔協働事業に対する認識（アンケート結果）〕

14問中13問については、実施主体及び県協働担当課の双方がほぼ同一の回答内容であった。2点以上の差がある項目は1問であり、概ね認識が共通していた協働と言える。

また、本協働事業について、実施主体への聞き取りの際、「今まで南部町にはソーシャルデザインの要素の事業がなかったため、協働事業で実施できたのは画期的だった」「県の持つ人的ネットワークと情報量の多さに助けられた。」との声が聞かれた。

(6) 写真でみる事業成果



H.!.N.T 交流の館 設立  
総会・開所式の様子



第2回「H.!.N.Tプロジェクト」情報交換会ワークショ  
ップ第2部「南部町観光商品  
づくり」の様子



「H.!.N.Tプロジェクト」  
活動報告会において試食され  
た南部町の特産品やおみやげ  
品などの試作品 (いのししの  
串カツ、いちじくロール、い  
ちじくまりちゃん、いのしし  
かりんとう、赤イノシシ岩も  
ち)